

高知大学学術研究報告投稿の手引

(令和6年3月15日改定)

1 投 稿

高知大学学術研究報告の投稿にあたっては、「高知大学学術研究報告編集・発行その他に関する手続き」及びこの「手引」によるものとする。

2 原 稿

原稿は完全原稿とし、そのディスク等と発行願（「高知大学学術研究報告編集・発行その他に関する手続き」第3条第1項に定めた書類）を添えて編集委員に提出するものとする。

原稿はWord(指定の書式)を使って作成し(本文の文字の大きさは9ポイント)、A4判の用紙を用い、横書きの場合は横44字、縦42行に、縦書きの場合は縦32字、横27行にする。余白は上24ミリ、下16ミリ、左右20ミリにする。

社会科学、自然科学、農学及び医学・看護学は横書原稿用紙を、人文科学は横書又は縦書原稿用紙を用い、それぞれ左上あるいは右上から始める。

横書き原稿用紙は左上、縦書き原稿は右上から始める。原稿にはページ数を記入する。
横書の場合、読点は（ ），句点は（ ． ）とし、和文の縦書の場合はそれぞれ（ ），（ ． ）とする。

3 表題、著者名、所属

- 1) 原稿1枚目に表題、著者名及び所属（大学名、学系・部門名等）を記す。文字の大きさは、表題は14ポイント、サブタイトル・著者名は11ポイント、所属は9ポイントとする。書体は、和文の場合はMS明朝、欧文の場合はTimes New Romanとする。
- 2) 表題は冒頭中央に書き、末尾にピリオドをつけない。サブタイトルを必要とする場合は次の行に、前後にダッシュを付して、記す。
- 3) 欧文表題は、第1語、名詞、形容詞、副詞、動詞の頭文字はキャピタルとする。
- 4) 著者名は表題から1行あけて記す。ローマ字の場合は、名・姓の順とし、名・姓の頭文字のみをキャピタルとし、後はスモールレターとする。
- 5) 共著のときは、和文ならばナカグロ「・」で連ね、欧文ならばandで連ねる。3名以上の場合はコンマとandで連ねる。
- 6) 所属は、和文ならばローマン体（立体）で大学名、学系・部門名等を書き、欧文ならばイタリック体（斜体）で記す。

共著で各著者の所属が異なる場合には、それぞれの著者名の右肩に番号「¹」, 「²」などを付け、所属名の左肩に同じ番号を入れ、所属ごとに改行する。右肩及び左肩に付ける番号はローマン体とする。英語名の所属はイタリック体で「*Chair of ……*」・「*Laboratory of ……*」・「*Department of ……*」及び「*Faculty of ……*」とする。

「*Lab.*」・「*Dept.*」・「*Fac.*」のように略さない。

7) 和文の場合には、原稿用紙1枚目の下半分に、かさねて欧文で、表題、著者名、所属を記す。

[例]

余白：上24ミリ

高知県における障害児本人および保護者の支援のための関連機関の連携

サブタイトル・
著者名：11pt

「障害ケアコーディネーター」構想を中心に

表題：14pt

是永かな子¹・上田真弓²

所属：9pt

¹高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 高知発達障害研究プロジェクト

²高知ハビリテーリングセンター

欧文表題：14pt

The Corporative Support System for Children with Disabilities and Their
Guardians in Kochi; Forcing on the Idea of
“the Handicap Care Coordinator”

欧文著者名：11pt

Kanako Korenaga¹ and Mayumi Ueta²,

所属：9pt

¹Kochi University Research and Education Faculty Humanities and Social Science Cluster Education Unit,
The Research Project on Kochi Developmental Disabilities

²Kochi Habiliting Center

欧文要約：9pt

Abstract: In this study, we examined “the handicap care coordinator” who is the key person of the support for children with disabilities and their guardian. We analyzed the example of two children with physically handicapped. As a result, “the handicap care coordinator” required the role of consultation and coordination.

キーワード：障害ケアコーディネーター，障害児と保護者，支援

Keywords: the Handicap Care Coordinator, Children with Disabilities and Their Guardian, Support System

キーワード：9pt

余白：下16ミリ

余白…左右20ミリ

余白…左右20ミリ

4 英文要約

- 1) 和文の場合も、欧文の場合も、英文の要約を付ける。
- 2) 要約は原稿 1 枚目下に記す。(1 枚目で終了しない場合 2 枚目へ)
- 3) 文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は Times New Roman とする。
- 4) 見だしはゴシックで **Abstract:** とする。
- 5) 語数はダブルスペースで 20 行以内とする。

5 欄外タイトル(running title、(各ページ上部に表示する)欄外見出し、柱)及びキーワード

- 1) 欄外タイトル(日本語の場合 20 字以内、英語の場合は 10 語以内)を示す。
- 2) 論文の内容を代表するキーワードを和文又は欧文ともに 3～5 語示す。語間は「,」で区切る。
- 3) キーワードの文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は、和文の場合は MS 明朝、欧文の場合は Times New Roman とする。

[例] キーワード: フザリウム菌, 厚膜胞子, 腐生生存。

Keywords: *Fusarium oxysporum*, Chlamydospore, Saprophytic survival.

6 本文

- 1) 本文は原稿 2 枚目(ないし 3 枚目)以下に記す。
- 2) 人文科学系以外の論文においては、本文は原則として、緒言(はじめに)、(実験)材料及び方法、結果、考察、の順序に記載するものとする。ただし、結果と考察をいっしょにすることも可とする。
- 3) 和文の場合
 - ① 段落の始まりは 1 コマあけて書き始める。
 - ② 句読点はコンマ(,)と句点(.)とする。
 - ③ 句読点、カッコ等は全角で書く。
 - ④ 欧文文字及びアラビア数字は半角で書く。
 - ⑤ 外国の固有名詞は原則としてカタカナで表記し、特に明示する必要がある場合を除いて欧文文字を用いない。
 - ⑥ 文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は MS 明朝とする。
- 4) 欧文の場合
 - ① 段落の始まりは 3 字あけてタイプをうちはじめる。コンマ、セミコロン、コロンの文中の読点の後には 1 字分をあげ、ピリオド、疑問符、感嘆符などの文尾の句点の後には 2 字分あける。
 - ② 特別の書体を使用する場合は、文書作成ソフトで明確になるようにする。
 - ③ 文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は Times New Roman とする。
- 5) 数式
 - ① 数式の上下にはスペースをとる。
 - ② 文章中の簡単な分数式には/を用いる。
- 6) 生物名、化学名
 - ① 和文の場合、原則として、和名は漢字又はカタカナ、学名はイタリックで入れる。本文中に最初

に出てくる学名はフルネームとする。分類その他記載を主とする論文では、上記にかかわらず慣行に従う。欧文の場合には小文字で書き、俗名の次にコンマで切って学名を入れ、ふたたびコンマで切る。

② 化合物や元素は、原則として記号ではなく、名称で示す。

7) 計量単位

計量単位は、原則として国際単位系 (SI units) を用いることとする (別表例示)。

8) 人 名

自然科学、農学、医学・看護学は、人名については原則として次のとおりとする。

本文中の人名は姓のみとし、名と敬称を省略する。欧名のときも姓だけを記入し、頭文字をキャピタル、後はスモールレターとする。

7 その他

1) 注

① 注は原則として本文の最後 (文献の前) にまとめて示すものとする。

② 注の見出しは、本文該当個所の後ろに、() を付し、その中に (注 1) (注 2) のごとくアラビア数字を順番に記入する。

③ 特に脚注を必要とする場合は、本文該当個所の右肩に *) を付し、本文中そのすぐ下に、上下を横線ではさんで注を記入する。その冒頭に *) を付し、その左欄外に脚注と朱書する。

④ 文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は、和文の場合は MS 明朝、欧文の場合は Times New Roman とする。

2) 文 献

① 引用文献の指示は、原則として本文該当箇所の右肩に) を付しその左にアラビア数字で記入する。

[例] 佐藤^{2, 3)}, MARTIN⁶⁻⁸⁾

② 文献は一括して末尾の文献欄に番号順に列記する。

③ 記載の形式は、次のとおりとする。

A. 定期刊行物の場合

番号), 著者名, 表題, 雑誌名, 巻 (号), 最初ページ—最後ページ (西暦年号) 雑誌名の略記は慣行に従い、欧文誌名はイタリック, 巻数はゴシックとする。

著者名は頭文字のみをキャピタルとする。連名の場合には和名では「・」, 欧名では「, 」及び「and」でつなぐ。

ページ数は通巻ページ数を書くが、これの無い場合は、巻数の次に「No. 3」のように号数を入れ、その号についてのページ数を示す。

B. 単行本の場合

番号), 著者名, 書名, 版次, 引用ページ, 出版社名, 出版地 (西暦年号) 引用ページは p. 129 のようにし、総ページ数を示す 129pp. との混同をさける。

- ④ 同じ文献を複数回引用する場合、引用箇所が同一項である場合のみ1つにまとめて記載することも可とする。

3) 表、図、写真

- ① 表、図、写真は白黒、カラーとも可とする。
- ② 図及び写真にはそれぞれ、欧文図表の場合は「Fig.1.」・「Table 1.」、和文図表の場合は「第1図」・「第1表」のように番号を付し、本文中に引用するときにもこれを用いる。
- ③ それぞれの表、図、写真には表題をつける。欧文表題は普通字(ローマ体)で、第1語及び固有名詞の頭文字のみをキャピタルとし、図・写真では末尾に「.」をつけ、表は「.」を付けない。
- ④ 図及び写真には、必要に応じ簡単な説明文をつけることとする。
- ⑤ 表、図、写真は本文中の適切な場所に、番号、表題、説明文とともに挿入する。

4) 原稿の枚数等の制限

和文、欧文ともに15ページを超えないものとし、1人あたりの投稿数は3編(単、共著合わせて)までとする。

5) 原稿受理年月日

原稿の受理年月日は、各委員が原稿を受取った後、原稿を編集委員で承認した日とする。

6) 版下の確認

著者で印刷物の刷り上がりの確認を行う。ただし、文書及び図表データ等の校正はできないものとする。